

DX340|HD

HD Wireless Headset System



日本語取扱説明書

HME **HM ELECTRONICS, INC.**
14110 Stowe Drive, Poway, CA 92064 USA
Phone: 1-800-849-4469 Email: support@hme.com
Website: www.hme.com
HOSPITALITY & SPECIALTY COMMUNICATIONS

(株) スタジオイクイPMENT

〒154-0002 東京都世田谷区下馬 5-2-10
Phone 03-3795-3111 FAX 03-3795-3353
<http://www.studioequipment.co.jp/>

本取扱説明書について

本取扱説明書は、米国 HME 社の DX340|HD シリーズ ワイヤレスインターカムの製品取扱説明書を日本語に翻訳して加筆修正したものです。

原本の著作権は米国 HME 社に帰属し、日本語版の著作権は（株）スタジオイクイメントにあります。

Original Version Copyright HM Electronins, Inc.

Japanese Version Copyright Studio Equipment Corp.

保証規定

（株）スタジオイクイメントは、当社および当社の正規販売代理店から購入された HME 社製 DX340|HD シリーズ ワイヤレスインターカム（当社のロゴマークが貼られた HME 社製品）の自然故障に対する修理を購入の日より 1 年間保証します。故障した HME 製品とともに、購入日を示す納品書またはレシート等のコピーを添えて当社までご返送ください。故障品を送る場合の送料はお客様の負担となります。

この保証は、次の 3 項目のうち、いずれかに該当すると無効となります。

1. 本製品が不正な改造、放置、誤用、手荒な扱いの元にさらされた場合。
2. 当社および当社の正規販売代理店以外から購入された場合。
3. シリアルナンバーが完全でない場合。

この保証書は本製品のみを保証するものであり、本製品の使用によって生じた損害を補償するものではありません。

当社ロゴマークまたは社名の貼付された廃棄製品の受け入れ

（株）スタジオイクイメントは当社が製造した機器、もしくは当社が輸入した機器のリサイクルシステムへの回収を受け付けております。当社ロゴマークまたは社名が貼付された当社製造の製品または当社が輸入した製品は、送料をご負担のうえ、当社へご返送ください。当社が責任を持って環境に負荷を与えないよう、電子機器リサイクルシステムへ還元します。



目次

第1章 序説	1
第2章 機器概要	2
標準機器	2
オプション機器	3
機器の各部名称	4
MB340 HD ベースステーション	4
BP340 ベルトパック	6
第3章 機器のセットアップ	7
AC40A バッテリーチャージャー	7
MB340 ベースステーション	8
ベースステーションのバッテリー駆動	9
電波障害の回避（スペクトラムフレンドリー機能）	10
複数のベースステーションを使用する場合	11
ベースステーション間の音声の接続	11
シングルチャンネルモードとデュアルチャンネルモード	12
ベースステーションのマイク感度の調整	13
ベルトパック	14
ベルトパックのレジストレーション（登録）	14
ベルトパックのグループ設定	15
MB340 シングルチャンネルモード時の動作	15
ベルトパックの調整	16
アンテナの延長	17
外部音声入出力コネクタ	17
第4章 機器の操作	18
基本操作	18
ベースステーションの操作（スポッター席で）	18
ベルトパックの操作（フィールドで）	19
バッテリーの交換	20
第5章 トラブルシューティング	21
使用周波数を「A」以外に設定してしまった場合の再設定方法	23
FAQ（よくある質問）	24
第6章 機器仕様	25
機器仕様	25
ブロック図	28
第7章 索引	29

第1章 序説

DX340|HD シリーズ ワイヤレスインターカムシステムは、アメリカンフットボールのコーチ間通話に特化して開発されたスポーツコーチング コミュニケーションシステムです。

DX340|HD シリーズ ワイヤレスインターカムシステムは、MB340 ベースステーション(コーチコールボックス)、BP340 ベルトパックで構成されています。

MB340 ベースステーション (コーチコールボックス) からは、サイドライン側のオフENS (○) コーチベルトパック、ディフェンス (×) コーチベルトパック、さらに両グループのベルトパックと同時に通話することが可能です。MB340 ベースステーションはベルトパック相互間の通話の中継機能を持ち、さらに通話は盗聴される心配がありません。

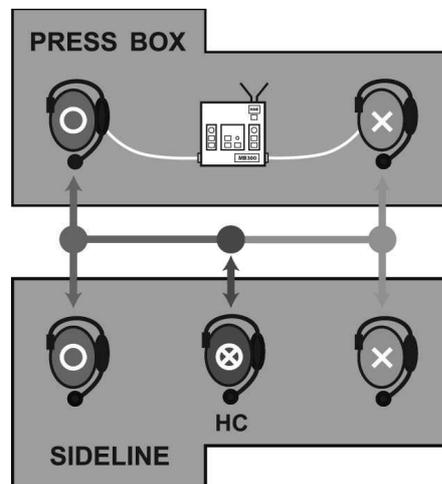
BP340 ベルトパックは、最後に送信したグループに自動的に受信設定されます。送信ボタンの押し間違いで受信グループが変更されてしまうのを防ぐため、オフENS (○)、ディフェンス (×)、ALL ボタンのいずれかまたは複数個の送信ボタンの上に送信可能ボタンを制限するグループセッティングが可能です。

セッティング例

基本的な 5 コーチシステム

ベースステーションは
デュアルチャンネルモードに設定

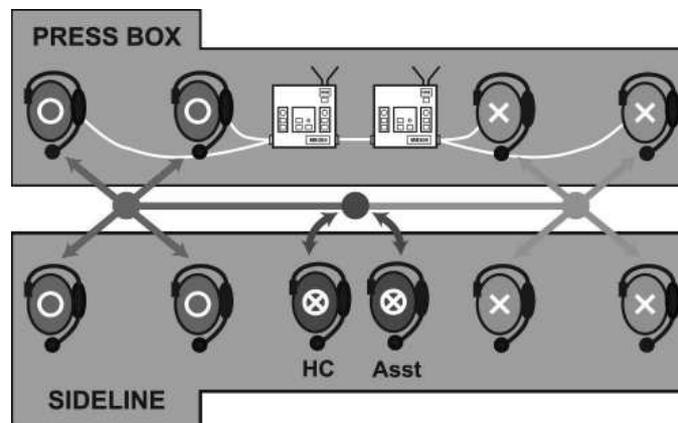
- ・ベースステーション 1 台
- ・ベルトパック 3 台
- ・ヘッドセット 5 台



拡張 10 コーチシステム

ベースステーションは
デュアルチャンネルモードに設定

- ・ベースステーション 2 台
- ・ベルトパック 6 台
- ・ヘッドセット 10 台



第2章 機器概要

標準機器



MB340|HD
ベースステーション



アンテナ



ヘッドセット



ACアダプター、ケーブル



バッテリーホルダー



ユーロブロック
コネクタ
(10ピン)



ベルトパック、ポーチ
リチウムイオン充電電池
ヘッドセット

AC40A バッテリーチャージャー



ベースステーション
相互接続ケーブル

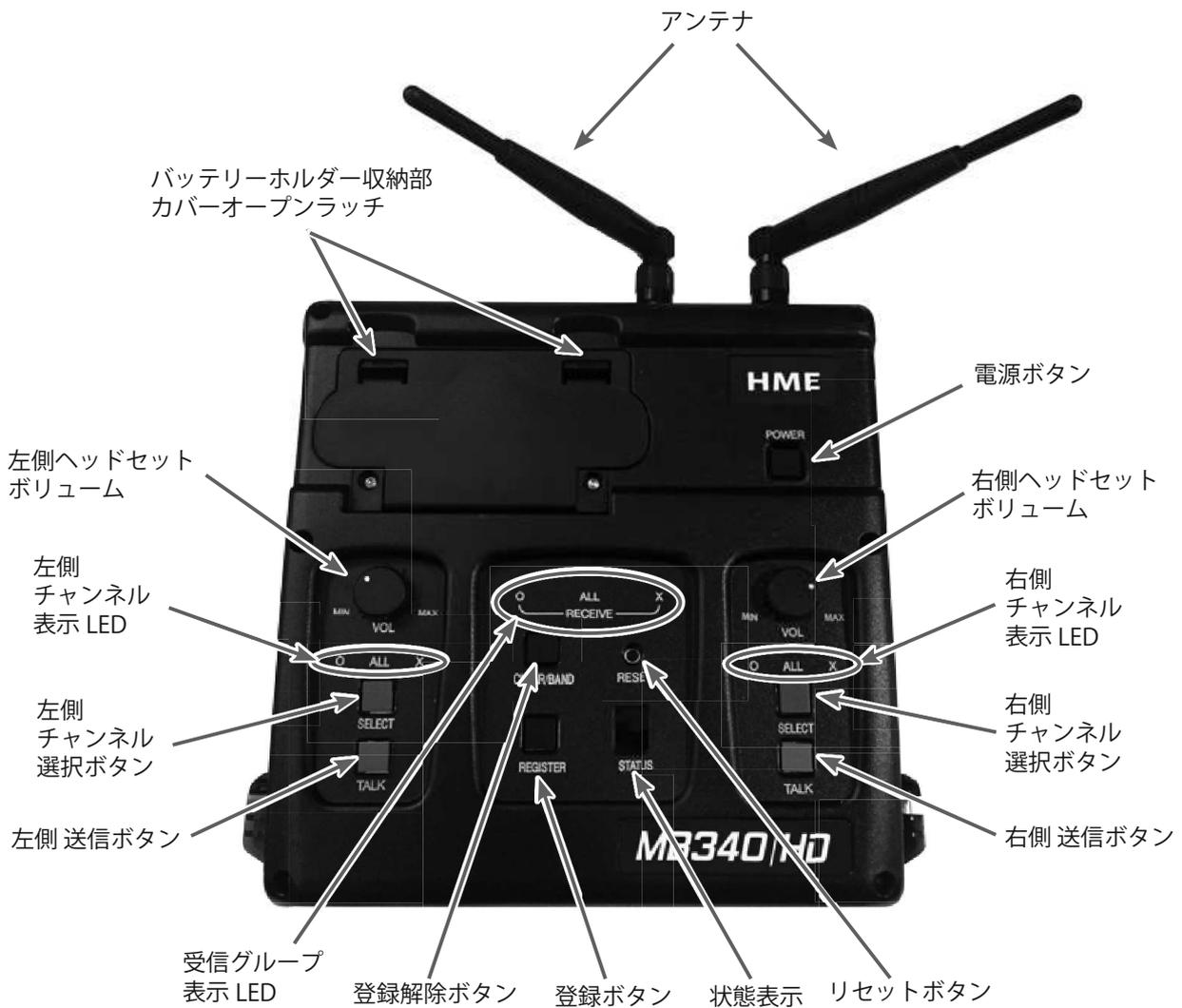
オプション機器

<p>SEC TR02HS 両耳密閉型ヘッドセット</p>	<p>HME 115G414 ヘッドセット スプリッターケーブル</p>
	
<p>SEC TR02HS 両耳密閉型ヘッドセット</p>	
	

機器の各部名称

MB340|HD ベースステーション

上面パネル

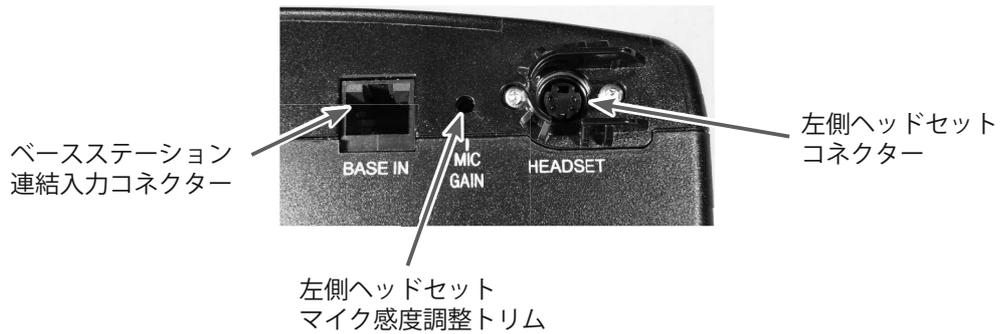


前面パネル



外部音声入出力
レベル調整トリム

左側面パネル

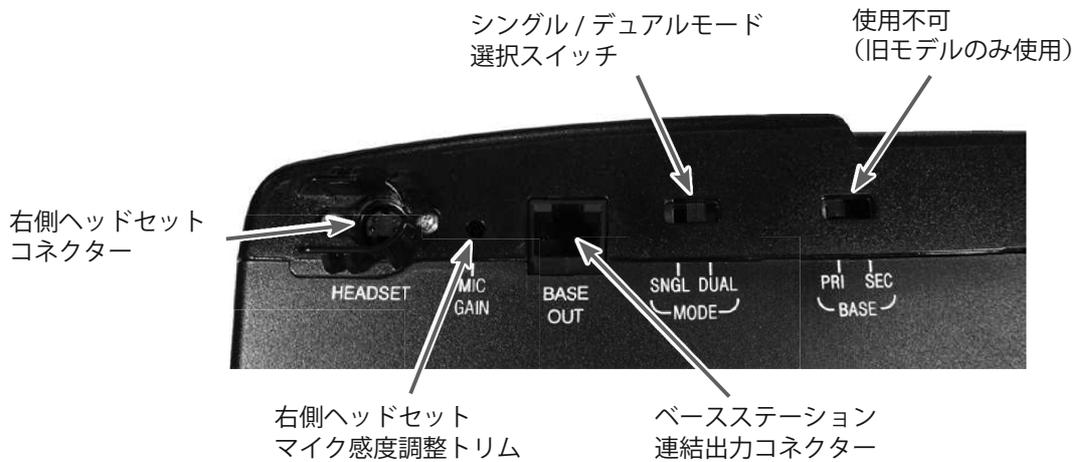


ベースステーション
連結入力コネクタ

左側ヘッドセット
マイク感度調整トリム

左側ヘッドセット
コネクタ

右側面パネル



右側ヘッドセット
コネクタ

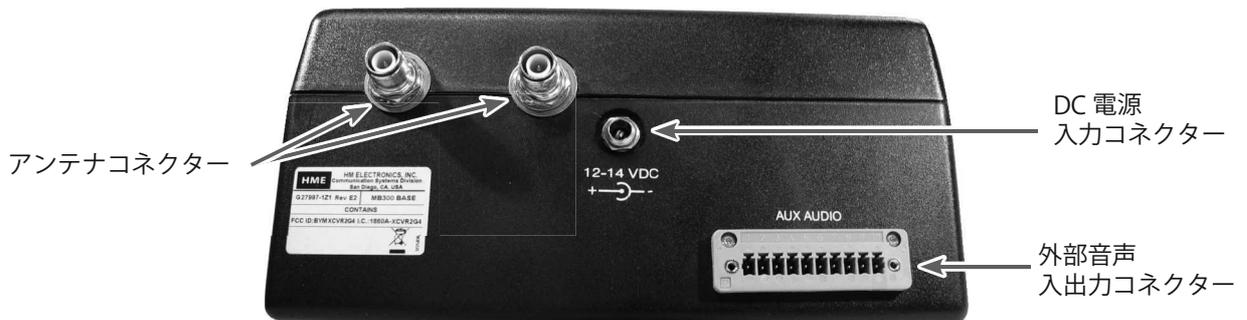
右側ヘッドセット
マイク感度調整トリム

ベースステーション
連結出力コネクタ

シングル/デュアルモード
選択スイッチ

使用不可
(旧モデルのみ使用)

背面パネル

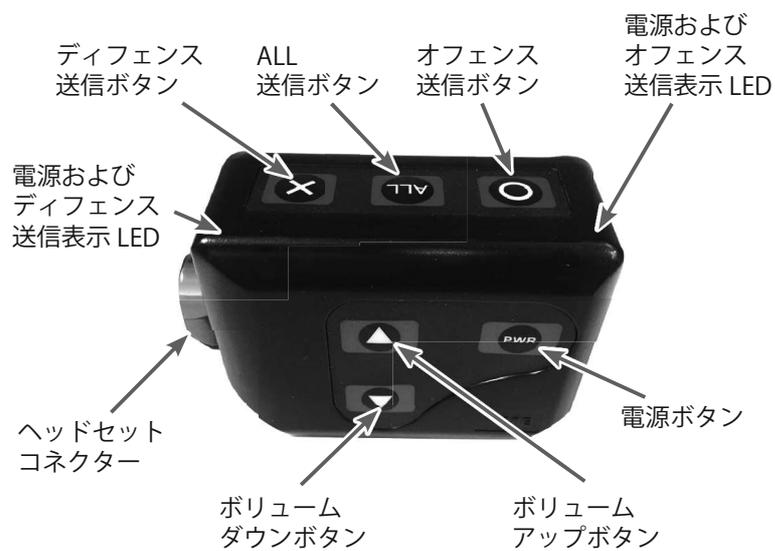


アンテナコネクタ

DC電源
入力コネクタ

外部音声
入出力コネクタ

BP340 ベルトパック



第3章 機器のセットアップ

AC40A バッテリーチャージャー

- 1 ACアダプターと電源ケーブルを、バッテリーチャージャーに接続します。



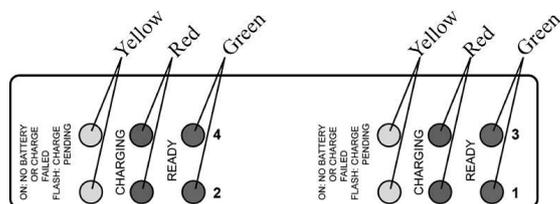
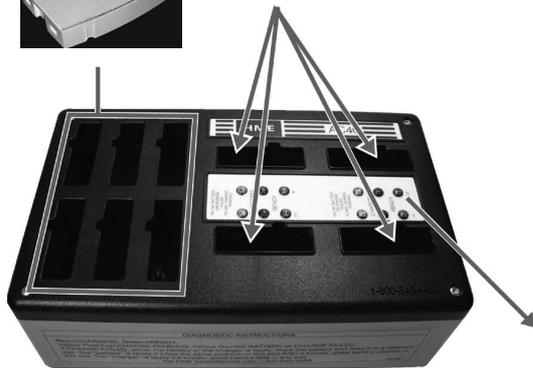
- 2 すべてのバッテリーを充電してください。

4個のバッテリーを充電する場合、充電時間はおよそ3時間です。

充電済みバッテリーを
入れる収納ポート



バッテリーは4個まで
充電ポートにセットが可能



ご注意ください!

充電池を持ち運ぶ場合は、必ず付属の電池収納袋に入れてください。

コインや鍵と混在させることにより、端子がショートして内部のヒューズが切れて、電池が使用不能になってしまうケースが発生しています。

充電ポート横の充電状態表示 LED

・赤色点灯

充電中

・緑色点灯

充電完了

・黄色点灯

ポートに電池が入っていない場合
充電待機

ポートに電池が入っている場合
電池不良による充電不能

・黄色点滅

バッテリー温度上昇のため充電待機

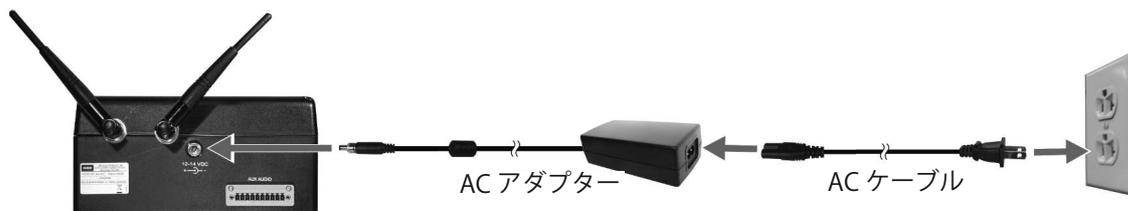
MB340 ベースステーション

- 1 付属アンテナ 2 本を、90 度の角度差で取り付けます。



- 2 AC アダプターと電源ケーブルを接続します。

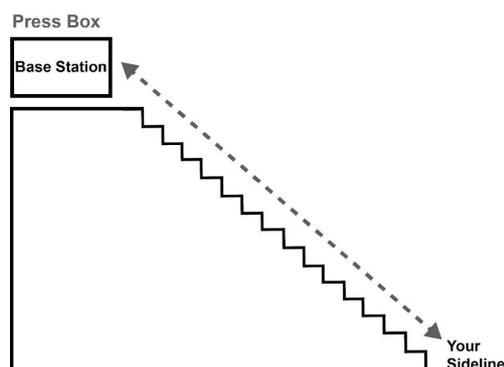
AC アダプターは、AC40A バッテリーチャージャーの AC アダプターと同一規格です。



NOTE: 新しい電池をバッテリーホルダーに入れておくと、停電や不意の電源遮断があっても、電池でベースステーションを駆動させることが可能です。

- 3 ベースステーションを、スポッター席のサイドラインが見通せる場所に設置します。

もし、障害物等でスポッター席からサイドラインへの見通しが悪く、送受信に問題がある場合は、後述のアンテナの延長をしてアンテナの位置を移動します。(17 ページ参照)



- 4 POWER (電源) ボタンを押して電源を入れます。

- 5 ヘッドセットをベースステーションに接続します。

ヘッドセットコネクタは奥までしっかりと差し込んでください。



ベースステーションのバッテリー駆動

ベースステーションは AC 電源が利用できないとき、電池駆動が可能です。

連続使用の場合のおおよその電池持続時間は

高性能単三アルカリバッテリー	1 時間
高性能ニッケル水素充電電池	3 時間

電池や充電電池を使用する場合、思いのほか使用時間が短くなる場合があります。

必ず予備のバッテリーホルダーに新しい電池または充電済みの電池を入れて、電池切れの場合にすぐに対応できるように準備しておいてください。

- 1 乾電池を使う場合は、高性能アルカリ乾電池以上の性能のものを使用してください。
- 2 バッテリーホルダー収納部カバー オープンラッチを手前方向に引きながら、バッテリーホルダー収納部カバーを開きます。



- 3 バッテリーホルダーをバッテリーホルダー収納部に入れ、カバーを閉めます。



NOTE: ベースステーションの電池電圧が低下したときは、ベースステーションのヘッドセットや登録されたベルトバックから、8 秒ごとに警告のための信号音が流れるとともに、**グループ選択表示 LED** が点滅します。

電波障害の回避（スペクトラムフレンドリー機能）

Wi-Fi システムやワイヤレス DMX システムのように、DX340 シリーズと同じ帯域を利用している機器を同じ場所で併用していると、通信が途切れてしまうことがあります。

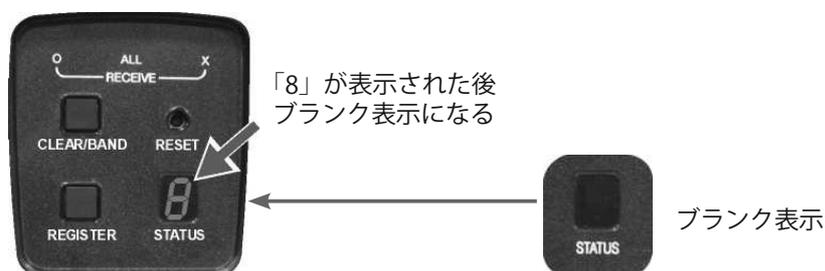
いくつかのシステムでは 2.4GHz の帯域のある部分を占有している場合があります、このようなときには DX340 の利用する帯域を 2.4GHz から 2.48GHz のあいだで Low 側と High 側のどちらかによせて、電波の干渉を防ぐことができます。

出荷時設定は全域（A=All Band）。

1 ベースステーションの電源を入れます。

STATUS（状態表示）に「8」が数秒間表示されます。

「8」が消えると、*STATUS* は空白表示になります。



2 CLEAR/BAND（登録解除/バンド切替）ボタンを押しながら、STATUS に「L」、「H」、「A」のいずれかが表示されるまで、同時に REGISTER（登録）ボタンを押し続けます。



3 CLEAR/BAND ボタンを数回押して、希望の周波数帯 L=Low バンド、H=High バンド、A=All バンドに設定します。

希望の周波数帯に設定されると *STATUS* の「L」、「H」、「A」の表示は消えて、「c」が表示されます。



すべてのベルトパックをベースステーションに再登録します。

NOTE: ベースステーションの周波数帯は、出荷時に「A」に設定されています。

「c」は、周波数帯の変更を行ったときにのみ表示されます。

以前設定されていた周波数帯に再び設定されたときは、「8」が数秒間表示されて消えます。

使用周波数帯の変更をおこなって「c」が表示された場合は、**すべての登録が解除されるので、すべてのベルトパックの再登録（レジストレーション）**

複数のベースステーションを使用する場合

MB340 ベースステーションは、ストレート結線の LAN ケーブルを使って最大 4 台まで連結することが可能です。これにより、スポッター用ヘッドセット 8 個、ベルトパック 12 個の合計 20 人のコーチが、常時送信可能状態で使用することができます。

ベースステーション間の音声の接続

付属のベースステーション相互接続ケーブルを使ってベースステーション間の音声信号をリンクさせ、ほかのベースステーションとのコミュニケーションをとることが可能です。

- 1 1 台目のベースステーションの右側面パネル *BASE OUT* (ベースステーション連結出力) コネクタから、2 台目のベースステーションの左側面パネルの *BASE IN* (ベースステーション連結入力) コネクタに接続します。

ベースステーションは**最大 4 台**まで結合させることが可能です。



シングルチャンネルモードとデュアルチャンネルモード

ベースステーションは、ベルトパックのグループ運用ができない**シングルチャンネルモード**と、2グループ運用が可能な**デュアルチャンネルモード**を選択することが可能です。



- ・ベースステーションが**シングルチャンネルモード**の場合

そのベースステーションに登録されたベルトパックは、○送信のみ可能です。

ALL ボタン、×ボタンを押しても○送信になります。

同時に送信できるベルトパックの台数は、**最大 4 台**です。

- ・ベースステーションが**デュアルチャンネルモード**の場合

そのベースステーションに登録されたベルトパックは、○送信も×送信も ALL (○ + ×) 送信も可能です。

同時に送信できるベルトパックの台数は、○×**グループ合計で最大 3 台**です。

ベースステーションのモード	ベルトパック送信可能グループ	ベルトパック受信可能グループ	ベルトパック同時送信台数	ベルトパック登録可能台数
シングル (SNGL)	○のみ	○のみ	最大 4 台	最大 15 台
デュアル (DUAL)	○、×、ALL (○ + ×) モード設定で選択可	○、×、ALL (○ + ×) モード設定で選択可	最大 3 台	最大 15 台

ベルトパックが規定の台数以上で送信しようとする時、送信しようとするベルトパックのヘッドセットから「システムビジー」というボイスメッセージが聞こえて送信ができません。

ほかのベルトパックが 1 台でも送信を停止すると、送信しようとしたベルトパックの送信は可能となります。

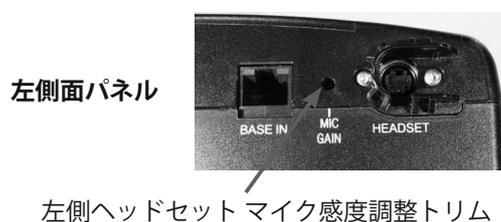
ベースステーションのマイク感度の調整

ベースステーションに接続されたヘッドセットのマイク感度は、個別に調整することが可能です。ヘッドセットは型式やバージョンによってマイク感度が大幅に異なります。使用するヘッドセットに合わせてベースステーションのマイク感度を調整してください。

- 1 ベースステーションの右側面パネルに、**MIC GAIN (右側ヘッドセットマイク感度) 調整トリム**があります。

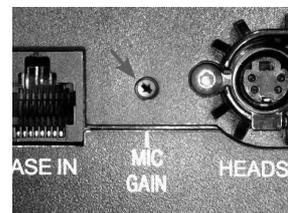


- 2 小さいマイナスドライバーを差し込んで感度調整をおこないます。右回りで感度大、左回りで感度小となります。
- 3 右側ヘッドセットで話し、その声を左側ヘッドセットやベルトパックで聞いてもらい、適正な音量になるように、マイク感度を調整します。
- 4 ベースステーションの左側面パネルに、**MIC GAIN (左側ヘッドセットマイク感度) 調整トリム**があります。



ステップ1～3と同様に、左側ヘッドセットのマイク感度を調整します。

NOTE: ヘッドセットが TR01HS の場合、マイク感度が高いため音が歪む場合があります。マイク感度を出荷時より下げて(時計の針でいうと9時から10時ぐらい)使用してください。左上45°(時計の針で10時半ぐらい)の位置がおすすめです。



- 5 ステップ1～4を繰り返して、すべてのベースステーションの感度を調整します。

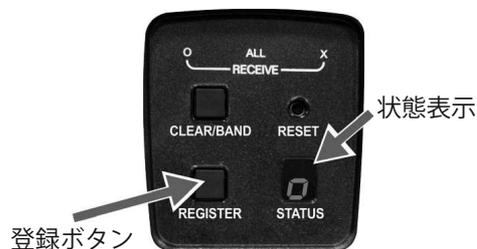
NOTE: 出荷時のマイク感度は、最小からおおよそ1/3回転上げたところに調整されています。

ベルトパック

ベルトパックのレジストレーション（登録）

- 1 ベースステーションの電源を入れ、ベルトパックの電源を切ります。
- 2 ヘッドセットをベルトパックに接続して装着します。

- 3 ベースステーションの **REGISTER（登録）** ボタンを押します。
STATUS（状態表示） に「o」が表示されます。



- 4 **ALL** ボタンを押しながら、**PWR（電源）** ボタンをワンプッシュします。

しばらくすると、ヘッドセットから“Registration complete”というボイスメッセージが聞こえます。

自動的に割り振られたベルトパックのID番号が、**STATUS** に表示されます。



- 5 各ベルトパックに対して、ステップ1～4を繰り返します。

NOTE: 使用していたベルトパックをほかのベースステーションに登録すると、今まで使用していたベースステーションでは使用できなくなり、そのベルトパックのID番号は無効のID番号となって今まで使用していたベースステーションに残ります。

無効のID番号を消去したい場合は、後述の「登録の全解除」を行い、その後で実際に使用するベルトパックを再登録してください。

NOTE: 登録の全解除

15台（無効のIDを含めて）以上のベルトパックを1台のベースステーションに登録しようとした場合

「F」(Full) という文字が **STATUS（状態表示）** に表示され、ヘッドセットから“Registration failed” というボイスメッセージが聞こえます。

CLEAR/BAND（登録解除） ボタンを押しながら **RESET（リセット）** ボタンをワンプッシュし、**STATUS** に「c」の文字が表示されたら、**CLEAR/BAND** ボタンを離します。

これで全登録は解除されました。

使用するすべてのベルトパックを再登録します。

ベルトパックのグループ設定

出荷時、ベースステーションは○、×、ALL のすべての**送信ボタン**が動作可能なように設定されています。

ベルトパックは最後に押した**送信ボタン**のチャンネルを受信するように設計されているため、誤って所属していないグループの**送信ボタン**を押してしまうと、所属していないグループのチャンネルを受信し続けることになります。

このような誤操作を防止するために、使用しない**送信ボタン**を働かないようにすることができます。

- 1 使用したい**送信ボタン**（複数個選択可能）を押しながら **POWER（電源）ボタン**をワンプッシュすると、送信したいチャンネルの**送信ボタン**が働きます。

それ以外のボタンを押しても、送信したい方のチャンネルの**送信ボタン**が働きます。

送受信モード	送信ボタンの組み合わせ	各送信ボタンの動作
○+×+ALL	○、×、ALL ボタンを押しながら電源ボタンをワン・プッシュ	○、×、ALL ボタンはそれぞれ正常に機能
ベルトパックと一体型ヘッドセットは、出荷時 ○+×+ALL モードに設定済		
○	○ボタンを押しながら電源ボタンをワンプッシュ	○、×ボタンは○ボタンとして動作 ALL ボタンは動作せず
○+ALL	○、ALL ボタンを押しながら電源ボタンをワンプッシュ	○、×ボタンは○ボタンとして動作 ALL ボタンは正常に動作
×	×ボタンを押しながら電源ボタンをワンプッシュ	○、×ボタンは×ボタンとして動作 ALL ボタンは動作せず
×+ALL	×、ALL ボタンを押しながら電源ボタンをワンプッシュ	○、×ボタンは×ボタンとして動作 ALL ボタンは正常に動作
○+×	○、×ボタンを押しながら電源ボタンをワンプッシュ	○、×ボタンはそれぞれ正常に動作 ALL ボタンは動作せず
ハンズフリー	ALL ボタンと▲を押しながら電源ボタンをワンプッシュ	○、×ボタンを押すとラッチがかかりハンズフリーで送受信が可能
プッシュトーク (PTT)	ALL ボタンと▼を押しながら電源ボタンをワンプッシュ	○、×、ALL ボタンを押している間のみ送信が可能

NOTE: ALL ボタンはラッチがかかりません。送信する間は押し続ける必要があります。

所属していないほうのグループの会話を聞くためには、所属していないほうのグループのベルトパックユーザーが話し続けている間、ALL ボタンを押し続ける必要があります。

MB340 シングルチャンネルモード時の動作

MB340 ベースステーションをシングルモードで動作させた場合、ベルトパックの×ボタンを押しても○ボタンが点滅して○チャンネルへ送信します。

送受信とも○チャンネル単独となります。ALL ボタンを押した場合、○チャンネル、×チャンネルとも LED 表示が点滅しますが、実際は○チャンネルのみへ送信します。

ALL ボタンを押すことにより、ベースステーションの AUX AUDIO（外部音声入出力）コネクタから×チャンネルへ音声信号を有線で送ることは可能ですが、×チャンネルからの信号をベルトパックで受信することはできません。

ベルトパックの調整

サイドトーンの調整

マイクロフォンに話しかけたとき、自分の声（サイドトーン）がベルトパックのヘッドセットから聞こえます。サイドトーンの音量は以下の方法で調整することが可能です。

1 サイドトーンを上げるとき：

通常の操作モードで、○ボタンを押しながら、▲（ボリュームアップ）ボタンを押します。

サイドトーンを下げるとき：

通常の操作モードで、○ボタンを押しながら、▼（ボリュームダウン）ボタンを押します。

注：サイドトーンを設定すると、設定値をボイスメッセージで通知します。（初期設定は5段階調整の最大です）

マイク感度の調整

標準より大声で話す人もいれば、標準より小声で話す人もいます。

マイク感度の調整は、ベルトパックを使用しているコーチの送話音量を平準化するのに役立ちます。

ベルトパックの電源が入っているか、確認しておいてください。感度調整は15段階です。

コーチ全員が、ほぼ同じ声量ではっきりと送話する習慣を身に付けるのが理想的です。

1 マイク感度を上げるとき：

×ボタンを押しながら、▲（ボリュームアップ）ボタンを何回か押して適当なレベルに調整します。マイク感度は、一人のときはサイドトーンを聞きながら、ほかに人がいる場合はベルトパックがベースステーションでモニターしてもらいながら調整してください。

マイク感度を下げるとき：

×ボタンを押しながら、▼（ボリュームダウン）ボタンを何回か押して適当なレベルに調整します。マイク感度は、一人のときはサイドトーンを聞きながら、ほかに人がいる場合はベルトパックがベースステーションでモニターしてもらいながら調整してください。

注：マイク感度の設定をすると、設定値をボイスメッセージで通知します。設定値を覚えておくと、再設定を素早くおこなうことができます。

マイク感度を最大にすると、ヘッドセットから“Maximum”というボイスメッセージが聞こえます。最小のときは“Zero”というボイスメッセージが聞こえます。

マイク感度は内部のメモリーに記録されるので、電源オフやバッテリー交換で設定が消えることはありません。

マイク感度とサイドトーンの音量の設定はベルトパックに記憶され、ベルトパックの電源の入り切りでリセットされることはありません。

マイク感度調整は、少し音は小さくなりますが、自分のベルトパックのヘッドセットの音（サイドトーン）を聞いても調整できます。より完璧を求めるなら、ほかの人にベルトパックやベースステーションで聞いてもらうのが良いでしょう。

ヘッドセットのレシーバーのボリュームは、ベルトパックの電源を切ると設定がリセットされます。ベルトパックの電源を入れるたびに、音量を適度なレベルに設定してください。

アンテナの延長

スポッター席からサイドラインが見通せない場合や、スポッター席が室内に設置されていてガラス窓に熱反射のための金属コーティングが施されている場合は通話が困難になることが予想されます。

そのような場合は延長ケーブルを利用して、アンテナをサイドラインから見通せる場所に移設します。

HME DX340|HD シリーズ ワイヤレスインターカムシステムは 2.4GHz の周波数帯域を利用しています。

2.4GHz のような高い周波数になるとケーブル内部での減衰が大きく、ケーブルを 10m 延長すると電力は 1/2 になってしまいます。

ケーブルを延長する場合は、ベストな長さのケーブルを特注製作しますので、当社に御相談ください。

外部音声入出力コネクタ

オーディオレコーダーなどの音響機器や 4-wire の有線インターカムを接続する場合は、ベースステーションの背面パネルにある **AUX AUDIO (外部音声入出力) コネクタ** を使用します。

- 1 接続しようとする外部音響機器からのケーブルを、下記のピン接続表にしたがって 10 ピン ユーロブロックコネクタに接続します。
- 2 ユーロブロックコネクタを、ベースステーションの背面パネルにある **AUX AUDIO (外部音声入出力) コネクタ** へ差し込みます。

ピン接続表

Pin	Connections	
1	Aux In - ○	Differential pair
2	Aux In + ○	
3	Aux Out - ○	Differential pair
4	Aux Out + ○	
5	Ground	
6	No Connection	
7	Aux In - ×	Differential pair
8	Aux In + ×	
9	Aux Out - ×	Differential pair
10	Aux Out + ×	



10 ピン
ユーロブロックコネクタ

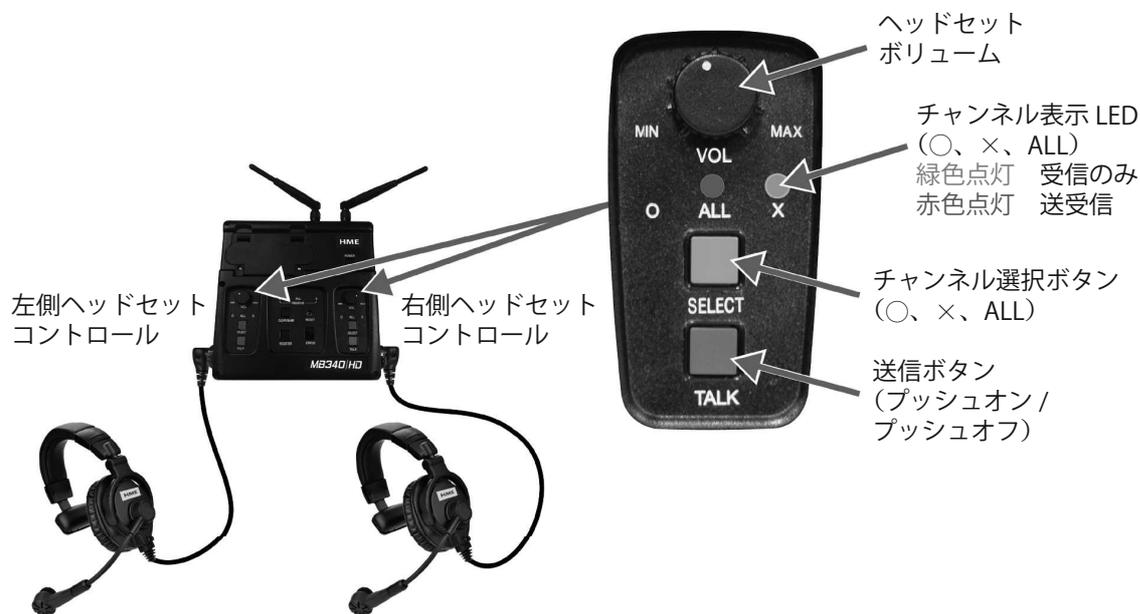
- 3 必要なら小さいマイナスドライバーを使って、前面パネルの **AUX AUDIO (外部音声入出力) 調整ボリューム** で、○ライン、×ラインへの「送り」と「受け」の音声レベルを調整することができます。



第4章 機器の操作

基本操作

ベースステーションの操作（スポッター席で）



- 1 **POWER (電源)** ボタンをワンプッシュして、ベースステーションの電源を入れます。
- 2 右側（または左側）の **HEADSET (ヘッドセット)** コネクターにヘッドセットを接続し、ヘッドセットを接続した側のヘッドセットコントロールを操作します。

ハイボリュームで長時間ヘッドセットを使い続けると、聴覚にダメージを与える可能性があります。

- 3 **VOL (ヘッドセットボリューム)** を調整します。
- 4 **SELECT (チャンネル選択)** ボタンを何回か押して、○、×、ALL のうちの通信したいチャンネルを呼び出します。
- 5 コーチと会話するとき、**TALK (送信)** ボタンをワンプッシュします。緑色点灯をしていた**チャンネル表示 LED** が、赤色点灯に切り替わります。
電話での会話のようにコーチと会話することが可能です。
TALK ボタンをワンプッシュして、送信を終了します。
- 6 ベースステーションの電源を切るには、**電源表示 LED** が消えるまで **POWER ボタン**を押し続けます。

ベルトパックの操作（フィールドで）

- 1 充電済みのバッテリーが装着されていることを確認してください。
- 2 ベルトパックの場合は、ヘッドセットケーブルをベルトパックに接続し、ヘッドセットを装着します。ベルトパックをポーチに挿入して、ベルトに装着します。

- 3 **PWR（電源）ボタン**をワンプッシュします。



ベルトパック 電源ボタン

- 4 オフェンス側のコーチと話す場合は、**○ボタン**をワンプッシュして**○送信状態**にします。
ディフェンス側のコーチと話す場合は、**×ボタン**をワンプッシュして**×送信状態**にします。
送信解除するときは、同じボタンをもう一度押します。

○ボタン、**×ボタン**を長押しすると、押ししている間だけ送信状態になります。

送信ボタンは受信チャンネルの選択ボタンとしての機能を兼用しており、最後に押した送信ボタンの側に受信チャンネルが設定されます。

出荷時は**○**、**×**、**ALL**すべてのチャンネルへの送信が可能のように設定されていますが、誤操作防止のために送信可能なチャンネルを限定させることが可能です。（15 ページ参照）



オフェンス側のコーチと話すとき



ディフェンス側のコーチと話すとき

- 5 オフェンス、ディフェンスの両方のコーチと話す場合は、話している間**ALL ボタン**を押し続けます。（**ALL 送信**の場合、送信ラッチはかかりません。）

自分の属していないグループのコーチの声を聞くとときは、受信のために**ALL ボタン**を押し続ける必要があります。



すべてのコーチと話すとき
（受信するときも、押し続ける必要があります）

- 6 ヘッドセットのボリュームを調整して、適度なヒヤリングレベルに調整してください。
ヘッドセットのボリューム調整の設定値は、内部メモリーに記憶されません。
電源を入れるごとに、ボリュームを調整してください。



ボリュームアップ



ボリュームダウン

ハイボリュームで長時間ヘッドセットを使い続けると、聴覚にダメージを与える可能性があります。

- 7 電源を切る場合は、**PWR ボタン**を長押ししてください。“Power Off”というボイスメッセージが聞こえて、電源が切れます。

バッテリーの交換

ベルトパックのバッテリーは、10 時間以上の連続使用が可能です。

ヘッドセットから “Change battery” というボイスメッセージが聞こえたら、バッテリーを交換してください。

- 1 ポーチからベルトパックを取り出してください。
- 2 **バッテリー リリースラッチ**を矢印の方にずらします。
- 3 バッテリーを起こします。
- 4 取り出したバッテリーを、バッテリーチャージャーの充電ポートに差し込みます。
- 5 フル充電されたバッテリーを、ベルトパックに装着します。
- 6 ベルトパックをポーチに戻します。



第5章 トラブルシューティング

下記の方法で問題が解決できない場合や、他の問題の場合は当社に御連絡ください。

- **PWR（電源）ボタンを押したときに電源表示 LED が点灯せず、電源が入らない。**

ACアダプターのDC電源ケーブルがしっかりと本体に接続されてロックされているか、ACケーブルがしっかりとACアダプターに接続されているか確認してください。

電池駆動で動作させている場合は電池が新しいか、または**バッテリーホルダー収納部**の上蓋がしっかりと閉じられているか確認してください。すべての電池が正しい向きでバッテリーホルダーに装填されているかも確認してください。

- **ベルトパックの電源表示 LED が緑色点灯とならず、“out of range” というボイスメッセージが聞こえる。**

ベースステーションの電源が入っているか確認してください。

ベルトパックの電源を、もう一度 OFF/ON してみてください。

ベルトパックが、ベースステーションから離れすぎているか確認してください。

- **ベルトパックを登録しようとしたとき、“registration failed” というボイスメッセージが聞こえてうまく登録できない。**

ゼムクリップのような先の細いもので **RESET（リセット）** ボタンを押します。

STATUS（状態表示） に「8」が一度表示されて消え、ブランク表示となります。

もう一度、ベルトパックを登録（レジストレーション）します。

再び登録に失敗する場合は、販売代理店または当社に御連絡ください。

- **自分が話しているときに、通話先のコーチの会話が聞こえない。**

ベルトパックまたはベースステーションの押した**送信ボタン**が、目的のグループのボタンかどうか確認してください。

ヘッドセットのコネクターが、ベルトパックまたはベースステーションにしっかりと接続されているか確認してください。

- **複数のベースステーション連結使用時に、ほかのベースステーションからの音声が聞こえない。**

ベースステーション間接続ケーブルが、マスターステーションの **BASE OUT コネクター** から、スレーブステーションの **BASE IN コネクター** に接続されているか確認してください。

問題が解決しない場合は、ほかの接続ケーブルと交換してください。

LAN ケーブルを流用している場合は、全線接続のストレートケーブルが確認してください。

- **外部音声接続コネクターからの音がないか、レベルが低い。**

外部音声機器とユーロブロックコネクターの接続が正しいか、ピン接続表と照らし合わせて確認してください。

小さいマイナスインプリで、前面パネルの **AUX AUDIO（外部接続入出力レベル）調整ボリューム** を調整します。時計方向がボリュームアップで、反時計方向がボリュームダウンです。

- ・ **ベルトパックの送信ランプが正常に動作しているにもかかわらず、ベースステーションのヘッドセットと通話ができない。**

ベースステーションのヘッドセットコネクタが、ベースステーションにしっかり接続されているか確認してください。

ベースステーションの**チャンネル表示 LED**が、送話中に送信状態（赤色点灯）になっているか確認してください。

各コーチが正しいチャンネル（○、×、ALL）で通話しているか、確認してください。

- ・ **ベルトパックへの到達距離が短い。**

アンテナがベースステーションにしっかり取り付けられているか確認してください。

サイドラインとベースステーションとの間で、見通しを遮る物体が存在していないか確認してください。

- ・ **ベースステーションのヘッドセットから一定の間隔で警告音が聞こえ、チャンネル表示 LED が点滅する。**

ベースステーションのバッテリー電圧が低下しています。

タイミングを見計らって、電池を交換してください。

- ・ **一部の送信ボタンが働かない。**

ベルトパックのグループ設定により、所属グループ以外の**送信ボタン**が動作しないことがあります。（15 ページ参照）

- ・ **2.4GHz 無線 LAN システムと干渉しますか？**

HME DX340 シリーズ ワイヤレスインターカムは周波数ホッピング スペクトラム拡散方式を採用しており、無線 LAN と利用している電波形式が異なるため、2.4GHz 無線 LAN システムとは干渉しません。

しかし、ベースステーションの使用周波数帯域が後述のハーフバンドに設定されてしまっている場合は、ほかの無線機器からの干渉を受けやすくなる場合があります。

米国で市販されている 2.4GHz ワイヤレスフォンとは電波形式が同じため、干渉があることが確認されています。日本では発売されていないと思われませんが、もし干渉があつて、たまに「バツツ、バツツ」というノイズがヘッドセットから聞こえる場合は、干渉を起こすワイヤレスフォンをできるだけベースステーションから遠ざけてください。

- ・ **STATUS (状態表示) に「H」, 「L」, 「A」というアルファベットが表示される。**

「H」, 「L」, 「A」の表示は 2400 ~ 2483.5MHz の使用周波数帯域のなかで、上半分 (H) を使用するか、下半分 (L) を使用するか、あるいは全帯域 (A) を使用するかを表しています。

出荷時は「A」のオールバンド（全帯域）に設定されています。「L」や「H」のハーフバンドで使用すると無線 LAN など、ほかの 2.4GHz 機器からの無線妨害を受けやすくなるので、**必ず「A」のオールバンドに設定**してください。

設定方法は、次ページを参照してください。

AC 電源から電源供給を受けていて、バッテリーバックアップがないとき

雷などの影響によって停電し、AC 電源復旧後に MB340|HD を再起動したときや、何らかのトラブルが発生したときは、MB340|HD の電源をいったん切り、15 秒以上経過後に電源を入れるとトラブルから復旧する場合があります。

使用周波数を「A」以外に設定してしまった場合の再設定方法

- **STATUS (状態表示) にアルファベットが表示されている状態**

REGISTER (登録) ボタンを数回押して「A」表示が出るようにします。

- 「L」や「H」が表示されたあと表示が消え、その後 STATUS (状態表示) に何も表示されない場合
バンド変更はされずに、設定モードを抜けることに成功したと思われます。

- 「C」表示が数秒間でた場合

ハーフバンドに設定されてしまった可能性があります。

その場合は CLEAR/BAND (登録解除) ボタンと REGISTER (登録) ボタンを、「L」、「H」、「A」のいずれかの文字が表示されるまで、同時に押し続けます。

「L」、「H」、「A」の表示が出たら「A」表示が出るまで、REGISTER ボタンを数回押します。

「A」表示が出たら、そのまま「C」表示が出るまで待ちます。

「C」表示が出た場合は**すべての登録が解除される**ので、すべてのベルトパックの再登録をおこないます。
(14 ページ参照)

FAQ (よくある質問)

- AC40A バッテリーチャージャーと、ベースステーション用の電源は互いに互換性がありますか？

互いに互換性があります。

- ベースステーションは、最大何台まで連結使用できますか？

合計 4 台までのベースステーションが同一エリアで干渉を起こすことなく使用可能です。

- 1 台のベースステーションのデュアルチャンネルモードで、3 台以上のベルトパックを使用することは可能ですか？

可能です。1 台のベースステーションに、最大 15 台までのベルトパックが登録可能です。

ただし、同時に送信できるベルトパックの台数は 3 台に限定されています。

デュアルチャンネルモードでベルトパックを 3 台以上使用する場合は、2 台をハンズフリーモードに設定し、ほかのベルトパックをすべてプッシュトークモードに設定することをおすすめします。(12,15 ページ参照)

- ベルトパックが濡れてしまったら？

使用する前に電池を取り外して、よく乾燥させてください。

注意：濡れた電子機器を AC 電源に接続して使用すると感電の恐れがあり、大変危険です。

第6章 機器仕様

機器仕様

ベースステーション

一般

型番	MB340
周波数帯域	2400 ~ 2483.5MHz
周波数特性	200Hz - 7kHz
電源	100 ~ 240V AC, 50 ~ 60Hz または 12 ~ 14V DC 0.4A または高性能単三アルカリ電池 6 本 (最大電流 0.6A)
使用可能温度範囲	0°C ~ 50°C
寸法 (W x H x D)	203.2mm x 203.2mm x 88.9mm
重量	1.25kg (バッテリーを含む)
最大登録可能ベルトパック数	15 台
最大同時送信台数	シングルチャンネルモード設定時 4 台 デュアルチャンネルモード設定時 3 台
ベースステーション連結コネクタ	RJ45 600 Ω バランス出力 / ハイインピーダンス バランス入力
外部音声入出力コネクタ	10 ピン ユーロブロックコネクタ 600 Ω バランス出力 / ハイインピーダンス バランス入力 (入出力レベル調整可能)
ヘッドセットコネクタ	Mini-DIN 4 ピン
エレクトレットマイクロフォン	45k Ω
ヘッドセット出力	32 Ω にて 200mW
上面パネル	電源ボタン 左右ヘッドセットコントロール 回転型ボリュームコントロール ヘッドセットグループ選択ボタン (○: オフェンス、×: ディフェンス、ALL) ヘッドセット送話ボタン 登録コントロール 登録ボタン 登録解除ボタン リセットボタン (誤操作防止型)
上面パネル表示	ヘッドセットグループ選択表示 LED 送信表示: 2 色発光 LED / 赤色発光 (○、×、ALL) 受信表示: 2 色発光 LED / 緑色発光 (○、×、ALL) 受信グループ表示 LED 登録状態表示
前面パネル	外部音声入出力レベル調整トリムポット
左側面パネル	左側ヘッドセットコネクタ 左側ヘッドセットマイクロフォン感度調整トリムポット ベースステーション連結入力コネクタ
右側面パネル	右側ヘッドセットコネクタ 右側ヘッドセットマイクロフォン感度調整トリムポット シングル / デュアルモード選択スイッチ ベースステーション連結出力コネクタ マスター / スリープ選択スイッチ (使用不可、旧モデルのみ使用)
背面パネル	外部音声入出力コネクタ アンテナコネクタ
アンテナ形状	1/2 - 波長ダイポールアンテナ (リバーズ TNC コネクタ) 送受信 水平 / 垂直偏波ダイバシティー
システム歪率	2%以下
秘話システム	64 ビット暗号化

送信回路

形式	周波数ホッピング スペクトラム拡散
送信出力	100mW burst
変調方式	Gaussian filtered FSK, TDMA
周波数安定度	13ppm
不要輻射波	FCC および ETSI 規定値以下

受信回路

形式	周波数ホッピング スペクトラム拡散
受信感度	-90dBm w 10^{-3} BER 以下
周波数安定度	13ppm
歪率	2%以下

日本国内無線機器認証

種別	証明規則第 2 条第 1 項第 19 号の無線設備
工事設計認証番号	003-120389

ベルトパック

一般

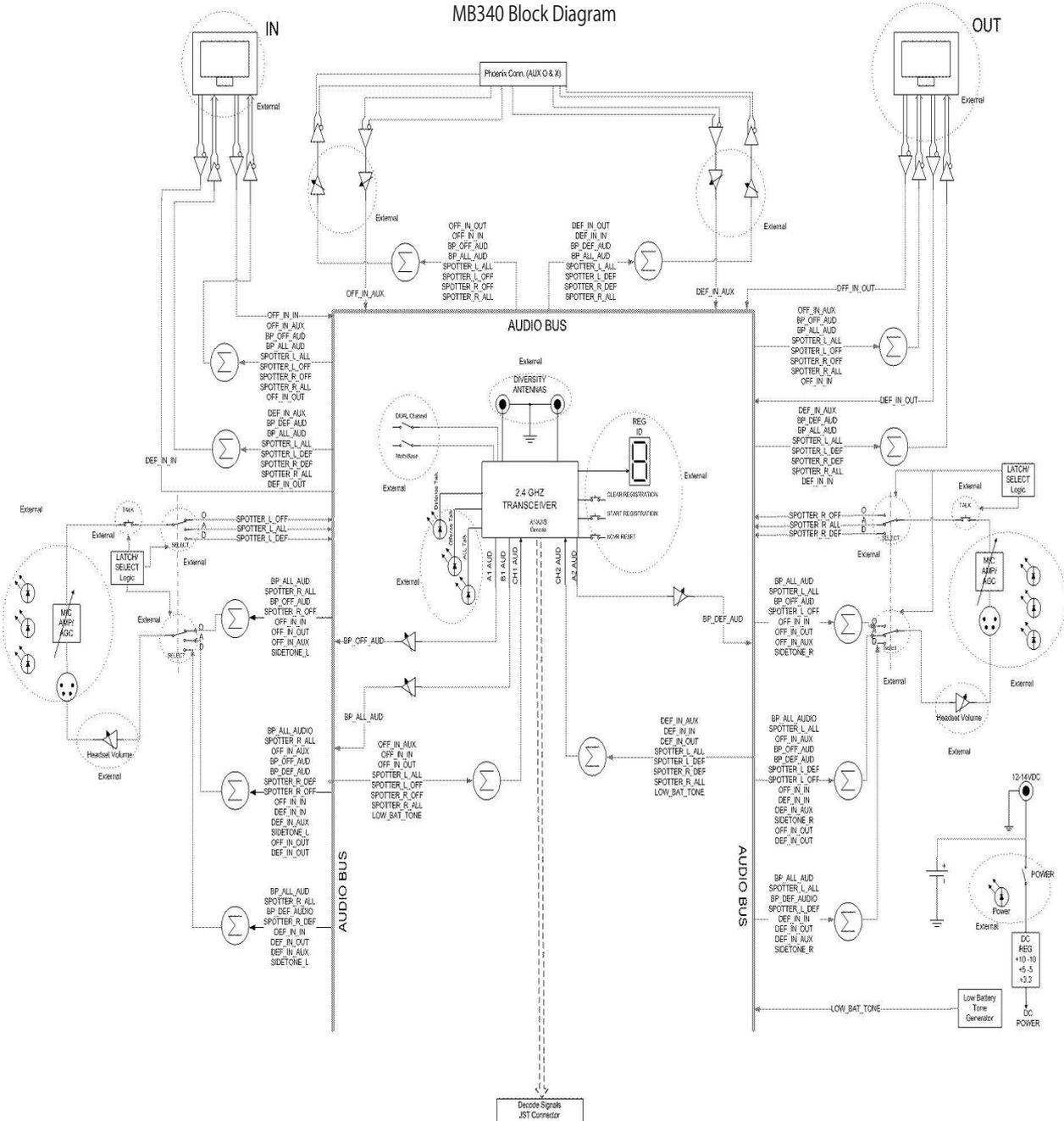
型番	BP340
周波数帯域	2400MHz - 2483.5MHz
周波数特性	200Hz - 7kHz
アンテナ形状	内部 基板パターンアンテナ 送受信 水平 / 垂直偏波ダイバシティー
送信電力	100mW burst
受信感度	-90dBm w 10 ⁻³ BER 以下
バッテリー	専用 3.6V リチウムイオン充電電池
バッテリー動作時間	連続送信時 最大 14 時間 / 受信時 最大 20 時間
使用可能温度範囲	0°C - 50°C
重量	210g (バッテリーとポーチを含む)
ヘッドセットコネクター	mini-DIN 4 ピン
マイクロフォン	エレクトレット
ヘッドセット出力	32 Ωにて 160mW
コントロール	電源ボタン、ボリュームアップボタン、ボリュームダウンボタン ○送信ボタン、×送信ボタン、ALL 送信ボタン
電源および送受信表示	2 色発光 LED (赤 / 緑)

日本国内無線機器認証

種別	証明規則第 2 条第 1 項第 19 号の無線設備
工事設計認証番号	003-160294

ブロック図

MB340 Block Diagram



第7章 索引

MB300 ベースステーション

各部名称	4
セットアップ	8
バッテリー駆動	9
電波障害の回避 (スペクトラムフレンドリー機能)	10
シングルチャンネルモードとデュアルチャンネルモード	12
操作 (スポッター席で)	18
マイク感度の調整	13
ベースステーション間の音声の接続	11
仕様	25
ブロック図	28

AC40A バッテリーチャージャー

セットアップ	7
--------	---

BP340 ベルトパック

各部名称	6
バッテリーの交換	20
レジストレーション (登録)	14
グループ設定	15
MB340 シングルチャンネルモード時の動作	15
操作 (フィールドで)	19
サイドトーンの調整	16
マイク感度の調整	16
仕様	28

資料

外部音声入出力コネクターのピン接続表	17
アンテナの延長	17

トラブルシューティング

トラブルシューティング	21
使用周波数を「A」以外に設定してしまった場合の再設定方法	23
FAQ (よくある質問)	24

機器概要

基本的な 5 コーチシステム	1
拡張 10 コーチシステム	1
標準機器	2
オプション機器	3

2018/10 作成

